

# SAME's Tc2 24V Brake Lamp "FADEOUT" Controller (TAFF-C2)

型番：SAM-TC2-24V [DC24V車専用]

## 取扱説明書

この度は、ブレーキランプフェードアウトコントローラー【SAM-TC2-24V】をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。また、この取扱説明書は大切に保管して、必要になった時に繰り返しお読みください。

### 本機をご使用になる前に…

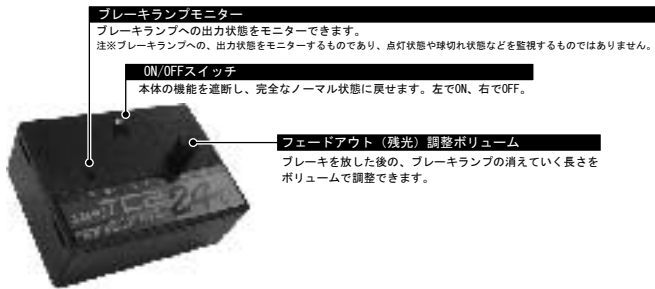
- 車輻の仕様（車輻が特殊な配線をされている場合や、特殊な無線機をご使用になっている場合など）により、本機をご使用いただけられない場合があります。ご購入いただく前に、あらかじめ、お取り付け予定の車輻のメーカーやディーラー、車輻電装系に詳しく取り扱っていただくことをご確認ください。
- 本機は、ノイズの影響を受けやすいもの、また、燃料タンク、燃料パイプなど、火気を嫌うものから出来るだけ遠ざけて設置してください。ノイズによる機器への影響や、万が一の場合、火災や感電が起こる危険もあります。
- 本機は、お客様自身の責任において、ご使用ください。本機の使用によって、直接的、または、間接的に引き起こされた損失、あるいは、その他の全ての問題に対して、弊社は、いかなる責任も負いかねます。

### 取り付けについて

特に、個人でお取り付けになる場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

- 取り付けは、車輻電装に詳しく販売・取付店にご依頼下さい。車輻電装の知識不足による、誤った取り付け・配線、使用・取り扱いにおいて生じた、車輻の破損、故障など、全ての問題に対して、弊社では、いかなる責任も負いかねます。また、それらに於いて生じた、本機の故障は、使用期間の長短を問わず、有償修理となりますので、十分にご注意ください。

### 本体各部の名称と使い方



この取扱説明書には、取り付けや取り扱い、万が一の事故などを未然に防ぐための重要な注意事項などを、明記しています。本書をよくお読みの上、お客様の責任において、安全に正しくお使いください。

\* 本機は、DC24V（マイナスアース車）専用です。

本機は、DC24V 専用（直流のみ）です。規定外の電気で使用しないでください。また、DC-DCコンバータや、バッテリー充電器、家庭用ACコンセントなど、交流成分が混じった電機での使用はできません。故障の原因になりますので、絶対にお止めください。

仕様	
電源入力	DC24V専用（マイナスアース車のみ）
標準出力（24V使用時）	ブレーキランプ（～25W球）4灯 + 補助灯（～18W球）2灯 相当
外形寸法	W55×H45×D25mm（ポリウム突起部分含む）
減光幅調整	アナログ式ポリウム

## 故障かな？と思ったら、もう一度、各箇所をご確認ください。

本機の取り付け時や、調子がおかしいとき、故障かな？と思われるときは、修理を依頼する前に、本書の内容や、本項などを参考に、本体、配線、負荷電球などのチェックを行ってください。それでも正しく動作しない場合は、お買い求めの販売店、または、弊社までご相談ください。

症状	解消方法
フェードアウトしない場合 ※※動作がおかしい、動作はするがうまく動かない場合	本機を取り付ける際に、取扱説明書、配線図に記載されている手順を誤って配線した場合、正常に動作しない、または、コンピュータが誤動作することがあります。  ■ 正しく配線されているか点検して下さい。 ・ 赤→常時+24Vへ ・ 黄→ランプ出力側へ ・ 黒→GND（ボディアース）へ  ■ 配線が正しく行われていて、なおかつ、正常に動作しない場合は、スイッチを一旦切って、もう一度入れ直して下さい。

症状	解消方法
何らかの警告灯が点灯する場合	フェードアウトを長く設定した場合、車輻によって、ブレーキ異常を感じ、何らかの警告灯が点灯する場合があります。  ■ フェードアウトを短めに調整してお使い下さい。

症状	解消方法
Pレンジでシフトロックが作動する（AT車のみ） （電磁弁）	フェードアウトを長く設定した場合、車輻によって、Pレンジでブレーキを踏んで放したときに、シフトロックの電磁弁が作動する場合があります。  ■ シフトレバーをPレンジに入れる前に、フェードアウトを最も短くするが、本体電源をOFFにしてください。

- 商品の写真などは印刷の性質上、実物とは多少異なることがありますのであらかじめご了承ください。
- 性能向上のため、外觀、仕様の一部を予告なく変更することがあります。
- 取り付けには、電気の知識が必要です。個人で取り付けの際には、取扱説明書を十分にお読みの上、確実に配線してください。



有限会社サムズ電子事業部 〒586-0039 大阪府河内長野市楠ヶ丘37-19

お問い合わせ TEL 0721-64-0558 / FAX 0721-64-0574 (AM 9:00~PM 6:00 土日祝休業)

web: <http://www.sames-inc.com/>

i-mode: <http://www.sames-inc.com/i/>

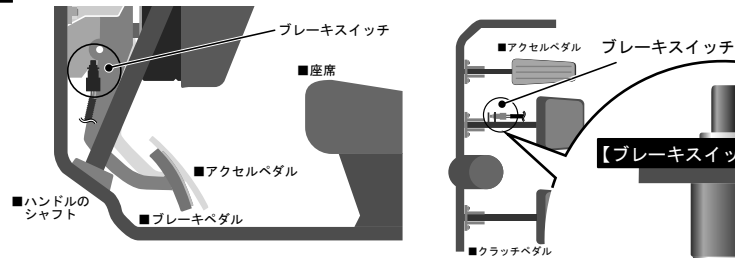
本機の仕様、取扱説明書は、2004年12月現在のものです。性能向上・改善のため、予告なく変更することもあります。ご了承ください。

## 本体とブレーキ配線の接続

- 取り付け手順 ■ 以下の順番に従って、正しく取り付けして下さい。

### ① ブレーキスイッチを探そう。

ブレーキペダルの上のあたりにある、ブレーキランプをON/OFFさせる『ブレーキスイッチ』、または、その機能に相当する回路、機構を探します。



『ブレーキスイッチ』：ブレーキペダルの動きに合わせて、ブレーキランプをON/OFFさせるスイッチ。大抵の場合、ブレーキペダルのレバー部分を下からのぞき込むと、ブレーキ圧装置の裏側あたりにあります。ペダルのそばにスイッチが無い場合は、その機能と同様の機構、回路を持った箇所に配線します。

### ② 『常時+24V』側、『ランプ出力』側を判別します。

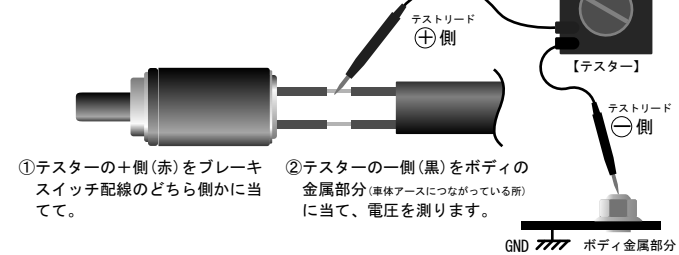
テスターなどを使用して、ブレーキスイッチ配線のどちら側に【+24V】常時流れているかを判別します。

### 【ブレーキスイッチ配線の判別方法】

スイッチ配線の被覆を10mm程度剥き、芯線を露出させます。この時、芯線同士が触れるとショートしますので、片側ずつ作業するようにして下さい。テスターのレンジを【DC V】に合わせ、テストリード【+（赤）】側をスイッチ配線のどちら側かに当て、テストリード【-（黒）】側をボディ金属部分に当て、電圧を測定します。

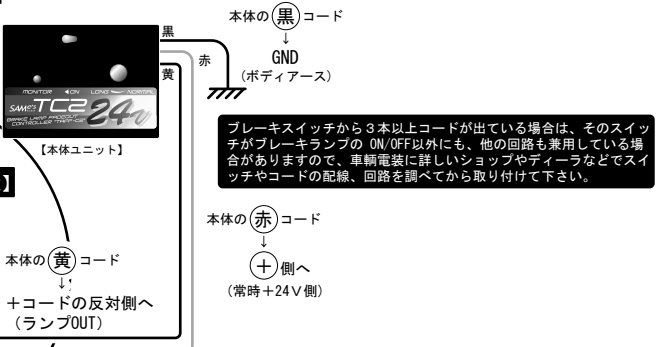
キーOFFの位置で+24Vの電圧が掛かっている側のコードを【常時+24V電源】（+電源）側と判別します。

もう一方を測定し、電圧が発生していない事を確認し、スイッチを動かしてみても（ペダルを手で押してスイッチを稼働させるなど）電圧の無い側に24Vの電圧が発生すれば、TC2が正しく動作できる環境です。



### ③ 本体コードをつなぐ。

手順②で調べたブレーキスイッチの両側とボディアース、それぞれに、下の説明のように3本の本体コードをつなぎます。

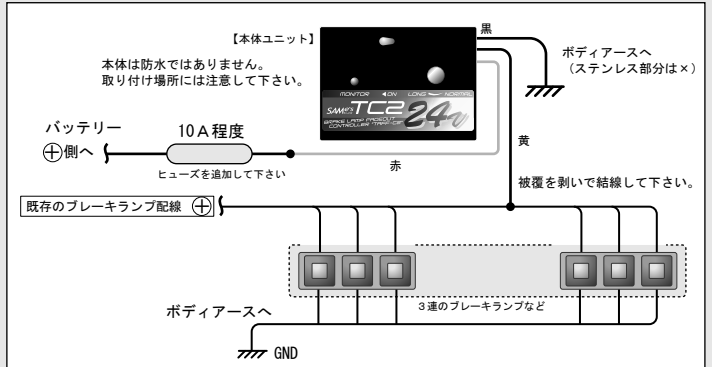


### ④ 本体を適当な位置に設置する。

本体を運転の妨げにならない適当な場所に、付属の両面テープなどを使用して固定します。取り付けが完了したら、ブレーキペダルを踏んで、放して、正しくフェードアウト動作するか、また、好みの残光の長さになるよう本体ボリュームで調整して下さい。

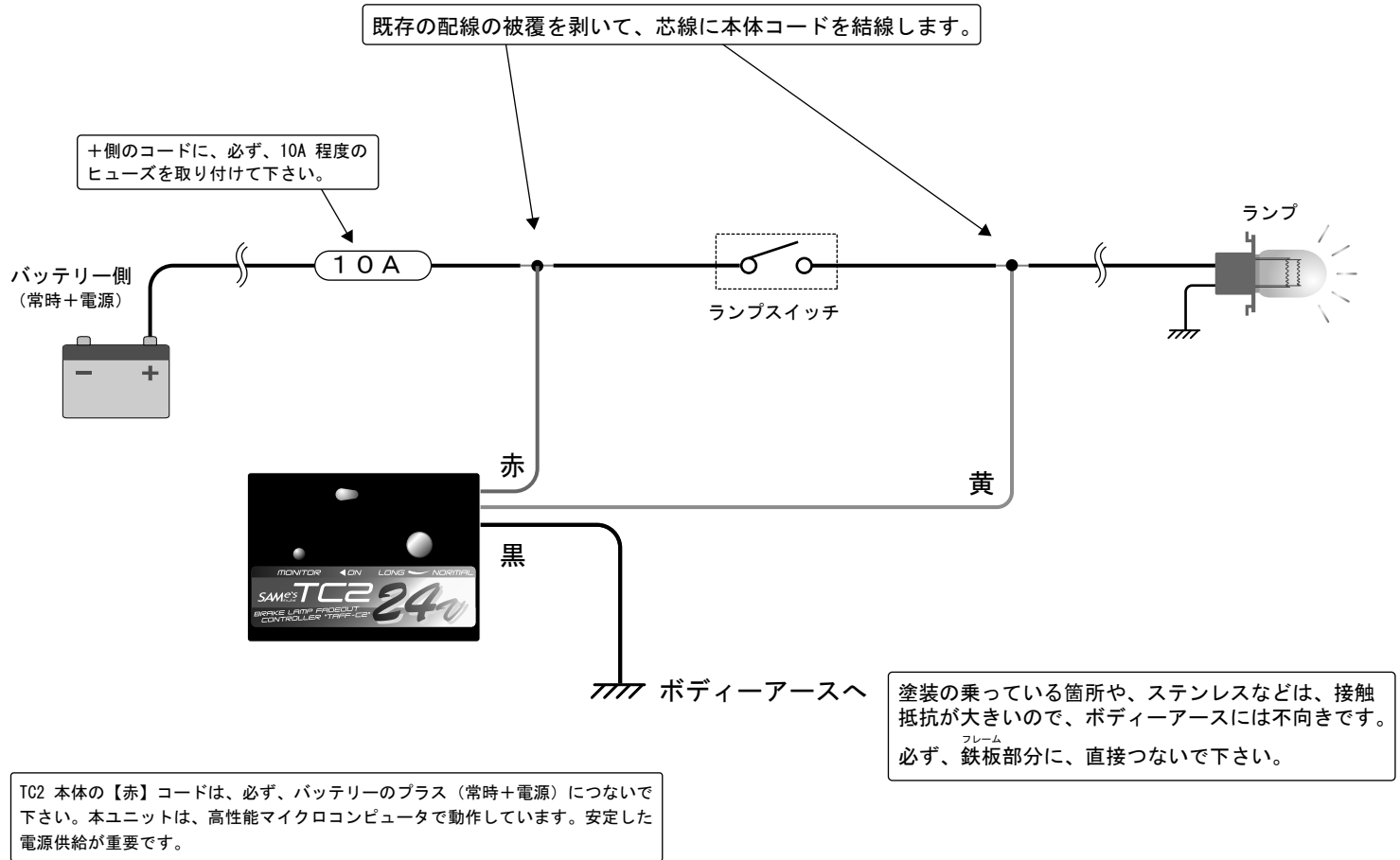
## ブレーキスイッチがない場合の配線（エアブレーキ車等）

ブレーキランプをON/OFFさせる機能に相当する回路など、直接配線を行うことでスイッチがない車輻でも使用できます。



## そのほかの配線例

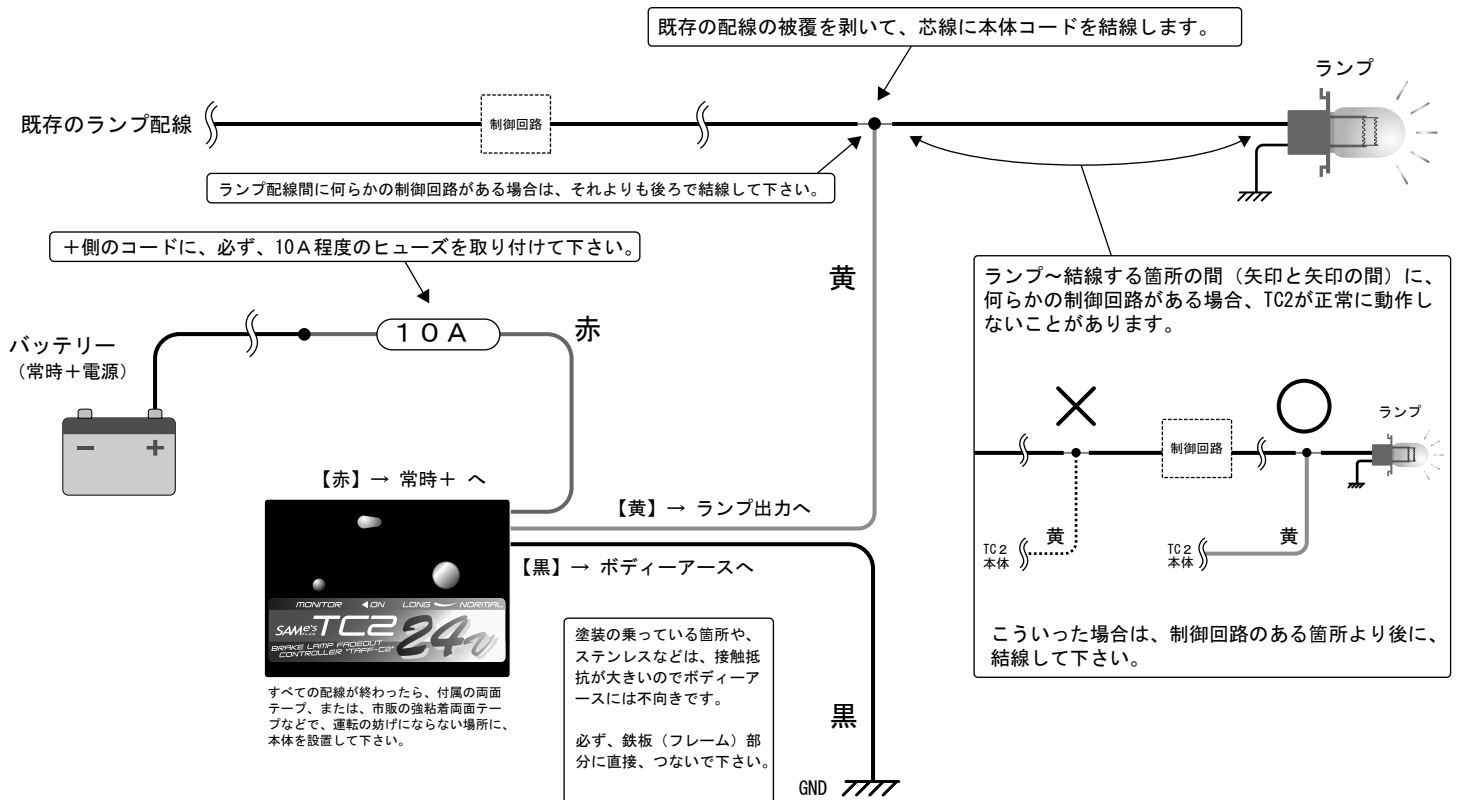
既存の配線へ結線することで、ルームランプなどの灯火類の残光をコントロール出来るようになります。



## スイッチが探しにくい場合

車両の種別、ランプ回路の種別を問わず、以下の方法で、取り付けることができます。

(4輪、2輪など)



TC2 本体の【赤】コードは、必ず、バッテリーのプラス (常時+電源) につないで下さい。本ユニットは、高性能マイクロコンピュータで動作しています。安定した電源供給が重要です。